

■小学校世界遺産学習フィールドワーク

毎年4月から5月にかけて、藤井寺市内の小学校6年生は、藤井寺市教育委員会が実施するフィールドワーク「世界遺産学習」として市内にある古墳の勉強に出かけます。当会は、本年も市内七校すべての小学校に古墳ガイドのお手伝いをさせていただきました。いつもの大人に向けてのガイドと違い、子供たちの初々しい心に何が残るだろうと私は緊張します。

小学校ではすでに古墳や「百舌鳥・古市古墳群」が2019年の世界文化遺産登録を目指す国内の推薦候補に選ばれたことについての事前学習がなされています。それらのことがあってか古墳に興味を持って来てくれる児童たちが増えてきたようです。

私が担当した小学校の皆さんは、とても静かで、しっかりと話を聞いてくれました。最後の応神天皇陵古墳でも、素早く集合して、メモを取り、集中力を切らさず私の方を見てくれていました。

この児童のうちの誰かが優秀な考古学者・歴史学者になって、未だに残るたくさんの古墳の謎を解き明かしてくれる！そんな確信が持てるようでした。

(2018/5 森 康員)

